

令和元年度前期 学群教育改善計画

学群(学部)名	看護学群
学群(学部)長名	原 玲子

1-(1). 授業評価アンケート結果を踏まえ、学群で改善すべき重点課題とその理由について3つ挙げてください。

※なお、前回から継続して同様の課題を記載する場合は、冒頭に「継続」と記載してください。

①	課題	「継続」 事前・事後学習の方法や授業中に集中する方法が工夫されているが、学生に対する「事前・事後学習」の意識付けにつながる工夫が必要である。
	理由	授業アンケートから、この科目の週当たりの授業外の学習(課題レポート・予習・復習など)が少ない状況が明らかとなり、学習を促す工夫が求められる。
②	課題	「継続」 ルーブリックの作成が定着してきた。令和2年度は、改革の完成年度となるので、ルーブリック適用科目の拡大、内容、評価者などの関係を検討する必要がある。
	理由	ルーブリックを作成しても、技術試験など複数の教員が行うことから、評価に差があると不満を持つ学生もいることから、複数の教員が行わなければならない状態の場合など、公平な評価に対する検討が必要である。
③	課題	「継続」 PC必携化を踏まえて、電子教科書の検討およびPCの活用が習慣になるような方法や体制の検討が必要である。
	理由	看護は、急激に、ICTが進んでおり、PCの必携を機会に、ICT教育を充実させる必要がある。

1-(2). 上記のそれぞれの課題を解決するための取組と、それらの取組を具体的にどのように進めていくか書いてください。

①	・「継続」 事前・事後学修については、引き続きの課題である。今期も「講義最初の到達目標提示」「小テスト」「レポート」「課題の提示」等の工夫がされていた。各科目において、事前・事後学修をどのように行っているのか、その方法をどのように評価しているのか等の情報を共有し、FD等を通して、効果的な方策を検討する。
	・「継続」 ルーブリックの作成をすすめながら、課題としてみえてきたことなど、FD等を通して共有し、ルーブリックの精度を上げる。
③	・「継続」 看護学群の将来構想として、地域包括ケアを推進できるナースの育成をめざしている。令和2年度は、保健師助産師看護師学校指定規則の変更により、カリキュラムの検討を行う。看護情報学の強化も求められていることから、内容について検討する。

2-(1). 各科目の授業改善計画から、授業実施・授業改善の良い事例を挙げてください。

・パソコン必携の学年になり、学生はより効率的に課題や資料をまとめていた。特にグループワークにおいて、ワークシートの記載を手書きからパソコン使用にしたことで生じた時間をディスカッションにより費やすことができるようになった。

2-(2). 上記の事例を学群の中でどのように共有して教育改善につなげていくか書いてください。

・教員会議で紹介し、情報を共有する。
・看護学群のFD等を通して、事前・事後学修時間の確保を促進する方法等の検討やICTを強化したカリキュラム等について検討について検討を進める。